

本年度の目標			項目	指 標	評価の方策等	評 価 規 準		取組の状況	評価	改 善 点	
目標設定理由	中長期経営目標										
“豊かな心” (徳) やさしく	○いじめ・不登校問題は本市の重要課題であり、学校・家庭・地域が連携協力して解決していく必要がある。	心豊かで自らを律し、自他の違いを認め合い、相手の立場に立って考え、行動できる思いやりの心をもつ子どもを育成していく。	生徒指導の充実	児童理解に立って、問題事象の解決に取り組む中で、自他を尊重する心を高め、人と人とのつながりが意識できる好ましい人間関係を形成していく。	・子どもとのコミュニケーションづくり ・事実関係の確実な把握と問題の解決 ・保護者との対応 ・好ましい人間関係の形成 ・生活アンケートの活用等	A	児童理解のもと、明るく支持的な学級のまとまりの中、自他を尊重する心を高め、好ましい人間関係を形成している。	・ 問題事象が起きた場合は、その日のうちに保護者と連絡を取り、事実関係と指導事項を説明した。 ・ 「自分がされていやなことは、友達にしない。」ことを約束し、全員にとって居場所のある学級作りに努めた。	3. 0	・ 自分が発する言葉遣いやSNSのメッセージ、人に対する態度などを意識させ、自分を大切に、友達を大切にできる子どもを育てていく。 ・ 休み時間の子ども達の様子をしっかり把握していく。 ・ 問題に直面したときに、自らの力で解決できる力をつけさせたい。	
						B	人と人とのつながりが意識できる、好ましい人間関係づくりに努めている。				
						C	問題事象が起こった時は、児童の話をしっかり聴き取り、問題の解決に努めている。				
						D	児童とのコミュニケーションづくりに努めている。				
	○本市教育の目標「思いやりの心をもつ、自立した子どもをはぐくむ」の達成に向けた取組を推進していく。		道徳授業の充実	「他の人とのかかわり」に関することに力点を置き、副読本、資料や体験的な活動等を適切に活用して、道徳の授業を充実していく。	・わたしたちの道徳副読本等の活用 ・体験的な活動を生かした指導 ・他の人とのかかわりに関する指導 ・授業時数の確保 ・児童・保護者アンケート等	A	いのち、副読本・資料等の活用を進め、道徳の授業の充実に努めている。	・ 教室内に、やさしさの花の掲示板を設置した。友達の優しい気持ちに気付いたら、カードに記入し、掲示板に貼って、クラス全体に紹介した。 ・ 道徳の時間では、「書く」時間を確保した。記述することで、自分の考えをしっかり持てるようにした。	2. 8	・ 対人スキルアッププログラムを取り入れた学習に取り組んでいく。 ・ 「自然や崇高なもののかかわり」「集団や社会とのかかわり」もきちんと指導し、充実を図っていく。	
						B	「他の人とのかかわり」に力点を置いた指導に努めている。				
						C	道徳学習の内容項目のすべてについて、指導するようにしている。				
						D	道徳の標準授業時数の9 0 %以上を確保している。				
“自ら学ぶ力” (知) かしこく	○学力の向上は本市の課題であり、学校教育の主たる目標の一つである。	基本的な知識や技能を身につけ、自分の考えを表現したり、伝えたりして、意欲的に学習に取り組む子どもを育成していく。	学力の向上	子どもたちの学習状況を適切に把握し、繰り返し学習や朝自習・家庭学習等を計画的・効果的に行い、一人一人の学力を向上させていく。	・CRT結果の分析と活用 ・ミニテストや単元テストの活用 ・朝自習の活用 ・読書好きの子どもの育成 ・家庭学習チャレンジハンドブックの活用	A	C R Tや単元テスト、ミニテスト等の結果を指導に生かしていくことで、一人一人の学力の向上に努めている。	・ 漢字の小テストを毎週行い、定着に努めている。また、そうじが終わった後の5分間を使い、毎日読み聞かせをすることで、子ども達が読書好きになるように努めている。 ・ プリントやドリルを使用した繰り返し学習や朝自習・家庭学習などをきちんと行わせ、基礎的・基本的な内容の定着に努めてきた。	3. 0	・ 朝自習の時間を計画的に使っていく。 ・ 子どもたちが進んで学習するように自主的に取り組ませ、認め称赞していく。 ・ 子どもたちに学習の達成感をもたせる。	
						B	基礎的・基本的な内容の習得や定着を図るために、繰り返し指導を工夫している。				
						C	練習問題やドリル問題等を活用し、一人一人の学習内容の定着に努めている。				
						D	朝の自習時間を積極的に活用している。				
	○数学的な思考力・表現力及び知識や技能を活用して問題を解決していく力を培っていく必要がある。		算数授業の充実	学び方を学ばせ、問題解決型の学習過程を基に、数学的な思考力・表現力をはぐくみ、知識や技能を活用して問題を解決していく力を伸ばしていく。	・算数的活動の工夫 ・問題解決的な学習過程の実践 ・数学的な思考力・表現力と活用する力の育成 ・年間授業時数の確保等	A	数学的な思考力・表現力を伸ばし、知識や技能を活用して問題を解決していく力を培っている。	・ 基礎的・基本的な内容の定着に重点を置いて指導した。児童の様子、習熟度等を授業・練習問題・宿題で確認しながら授業を工夫した。 ・ つかむ、みつける、ねりあげる、つかう、まとめるという5段階を意識して、日々算数科の授業を行っている。	2. 9	・ ノート指導の充実に努める。 ・ 理解が遅い児童、理解が早い児童、それぞれにとって達成感を味わえるようにしたい。より一層の個別指導の充実を図る。 ・ 自分の考えを書ける子どもたちを育てていく。	
						B	数学的な思考力・表現力の育成を意識して、授業を進めている。				
						C	問題解決的な学習過程を授業の基本として、基礎的・基本的な内容の定着に努めている。				
						D	算数の標準授業時数の9 0 %以上を確保している。				
“たくましい体” (体) たくましく	○子どもを取り巻く社会では、事件事故が多発し、安全・安心を求める保護者・地域の声が強い。	健康・安全及び礼節に関する知識と態度を有し、生涯にわたって心身ともに健康で、安全に過ごすことのできる生活力豊かな子どもを育成していく。	安全・安心の充実	学校事故防止のために、日常的な安全点検と学級活動等での安全指導を徹底し、ルールを守り、安全・安心に過ごす態度と実践力をはぐくんでいく。	・穴生小生活のきまりの徹底 ・安全指導の徹底 ・安全点検の励行 ・校内事故への適切な対応と再発防止 ・学校事故の状況 児童・保護者のアンケート等	A	児童が安全・安心に過ごす態度と実践力を身に付けている。	・ 廊下を走らない、室内で暴れない等の学校のルールを、日々指導し、事故、怪我防止に努めた。 ・ 校内だけでなく、学校外の交通ルール(自転車の乗り方、信号を守る、通学路を通る。)等も指導し、学校内外の安全指導に努めた。	3. 1	・ 教師が一丸となって、さらに取り組まねば、ルールの徹底は難しい、繰り返し、根気強く指導していく。 ・ 自分の身を守るのは、自分であることを意識させ、指導の徹底を図る。	
						B	学校事故防止に努め、ルールを守って安全に過ごしていく態度の育成に努めている。				
						C	「穴生小スタンダード」をもとに、安全・安心な過ごし方について指導している。				
						D	学校の施設・設備については、日常的な安全点検に努めている。				
	○規範意識を高め、場に応じたあいさつができる子どもの育成が望まれている。		挨拶の励行	学校や家庭・地域で、進んで挨拶ができ、場や相手に応じたマナーや礼儀を身に付けた児童をはぐくんでいく。	・学校・家庭・地域でのあいさつの励行 ・場に応じた言葉遣いの推奨 ・マナーや礼儀についての指導 ・児童や保護者のアンケート等	A	心のこもったあいさつができ、言葉遣いや返事など小学生らしいマナーや礼儀を身につけている。	・ 元気のよいあいさつ、正しい言葉遣いができるように指導している。 ・ 相手に伝わる声の大きさと、聞いた人が気持ちのよいあいさつができるように、その都度指導している。	2. 7	・ 全員に徹底できていないので感じのよいあいさつのできる子どもを紹介しながら、全体に広めていく。 ・ あいさつ、返事、言葉遣い、マナーについて考えさせる場を設け、どんな姿を目指すべきなのかを明確にもたせる。	
						B	児童は、場に応じた気持ちのよいあいさつを励行している。				
						C	児童は、元気のよいあいさつをしている。				
						D	学校や家庭等で、進んであいさつができるように指導している。				

※ 評価点は、評価項目ごとに、A（4点）、B（3点）、C（2点）、D（1点）として、その平均点を示すものである。達成値を2.5以上としている。